

(5) 工事経歴書

【経営事項審査と兼ねない場合】

下記の様式の工事経歴書には決算が終了した直前の事業年度1年間についての工事経歴を記入してください。

様式第二号（第二条、第十九条の八関係）

(用紙A4)

注 文 者	元請又は下請の別	JVの別	工 事 名	工事現場のある都道府県及び市区町村名	配 置 技 術 者		請 負 代 金 の 額		工 期		
					氏 名	主任技術者又は監理技術者の別（該当箇所にレ印を記載） 主任技術者 監理技術者	千円	千円	うち、 P.C. （仮面処理・鋼板上部）	千円	千円
〇〇建設(株)	下請		〇〇ビル空調設備工事	埼玉県さいたま市	佐藤 太郎	レ	17,100	千円	千円	平成2△年6月	平成2△年12月
埼玉県	元請		〇〇事務所給排水設備工事	埼玉県秩父市	鈴木 次郎	レ	16,500	千円	千円	平成2△年9月	平成2△年12月
〇〇興産(株)	元請		〇〇ビル空調設備工事	東京都足立区	鈴木 次郎	レ	7,200	千円	千円	平成2△年5月	平成2△年6月
〇〇建設(株)	下請		〇〇ストア給排水設備工事	埼玉県戸田市	佐藤 太郎	レ	7,000	千円	千円	平成2△年3月	平成2△年4月
A	元請		〇〇アパート給湯器設置工事	埼玉県川口市	佐藤 太郎	レ	5,600	千円	千円	平成2△年1月	平成2△年2月
〇〇建設(株)	下請		〇〇マンション空調衛生設備工事	埼玉県さいたま市	上田 三郎	レ	3,000	千円	千円	平成3△年3月	平成2△年4月
B	元請		B邸給排水設備工事	埼玉県熊谷市	上田 三郎	レ	2,700	千円	千円	平成2△年1月	平成2△年2月
(主な未成工事)			未成工事がある場合には記入				千円	千円	平成 年 月	平成 年 月	
〇〇建設(株)	下請		〇〇ビル空調衛生設備工事	埼玉県さいたま市	上田 三郎	レ	8,200	千円	千円	平成2△年12月	平成2〇年3月
							千円	千円	平成 年 月	平成 年 月	
							千円	千円	平成 年 月	平成 年 月	
			その他	11件			22,100	千円	千円	平成 年 月	平成 年 月

このページの合計を記入	小 計	18	81,200	千円	千円	うち 元請工事	41,000	千円	千円
最終ページにおいてその業種の合計を記入	合 計	18	81,200	千円	千円	うち 元請工事	41,000	千円	千円

・許可申請日の属する事業年度の前事業年度の完成工事高の合計を記入  
・未成工事高は合算しない

(注)

- 経営事項審査と工事経歴書を兼ねる場合はP29を参照してください。
- 「税込・税抜」については、該当するものに○を付してください。
- この様式は、許可を受けようとする業種ごとに作成してください。  
工事の実績がない場合は(建設工事の種類)を記載し、空欄には「該当なし」と記載した上で必ず添付してください。
- 1件の請負契約を分割して複数の業種に計上することはできません。  
例：建築一式工事を請け負った場合、この工事を管工事や電気工事とその他の工事に分けてそれぞれの業種に計上することはできず、これらすべてを建築一式工事として計上します。
- この工事経歴書には、許可申請日の属する事業年度の前事業年度の主な完成工事について、請負代金の大きい順に記載し、それに続けて主な未成工事について請負代金の大きい順に記載してください。建設工事の業種ごとに1・2枚で結構です。(ただし、経営事項審査と工事経歴書を兼ねる場合はP29参照。)
- 「元請又は下請の別」の欄の「元請」とは、建設工事の最初の注文者(発注者)から請け負ったものをいいます。
- 「配置技術者」欄については、新規申請以外は必ず記載してください。
- 請負金額に変更があった場合には、変更後の金額を記載してください。
- 無許可で軽微な工事以外の工事(P1参照)を請け負ったことがある場合は、このことについての始末書を添付してください。
- 工事が複数年にまたがり、単年度の工事進行基準が適用される工事は、当該年度を( )書きで上段に、全体額を下段に記載してください。
- 「注文者」及び「工事名」の記入に際しては、その内容により個人の氏名が特定されないよう十分に留意してください。例えば、注文者「A」、工事名「A邸新築工事」等と記載してください。
- この様式の記入に際しては、様式裏面の記載要領に従ってください。
- 次の場合はP31の(注)を参照してください。  
(1) 「とび・土工事業」の許可業者が「解体工事」を業種追加申請する場合  
(2) 平成31年5月31日まで「とび・土工事業」の許可で解体工事を施工している業者が事業年度終了報告書を提出する場合

**【経営事項審査と工事経歴書を兼ねる場合】**

経営事項審査を受審する建設業者は、下記のとおり作成した工事経歴書を事業年度終了報告書に添付・提出すれば、当該経歴書を経営事項審査で用いることができます。その際に、下記の様式の工事経歴書には決算が終了した直前の事業年度1年間についての工事経歴を記入してください。

消費税課税業者は工事経歴書と財務諸表を消費税抜きで、消費税免税業者は消費税込みで作成してください。

「とび・土工事業」の許可業者については、解体工事の実績（平成28年5月31日以前に契約をしたもの）がある場合、経営事項審査と兼ねることができません。

**様式第二号（第二条、第十九条の八関係）**

原則 消費税抜

各工事の主任技術者・監理技術者を記入

・土木一式については「PC」  
 ・とび・土工については「法面処理」  
 ・鋼構造物については「鋼橋上部」に○を付し、該当する額を記入

(用紙A4)

注文者 直接注文を請け負った発注者・元請負人を記入	元請又は下請の別	JVの別	工事名 共同企業体（JV）で行った工事は、「JV」と記載	工事現場のある都道府県及び市区町村名	配置技術者		請負代金の額	工期		
					氏名	主任技術者又は監理技術者の別（該当箇所にレ印を記載） 主任技術者 監理技術者		うち、 PC 法面処理 鋼橋上部	着工年月	完成又は完成予定年月
埼玉県	元請		〇〇事務所給排水設備工事	埼玉県秩父市	鈴木 次郎	レ	16,500 千円	千円	平成 2△年 9 月	平成 2△年 12 月
〇〇興産(株)	元請		〇〇ビル空調設備工事	東京都足立区	鈴木 次郎	レ	7,200 千円	千円	平成 2△年 5 月	平成 2△年 6 月
A	元請		〇〇アパート給湯器設置工事	埼玉県川口市	佐藤 太郎	レ	5,600 千円	千円	平成 2△年 1 月	平成 2△年 2 月
〇〇建設(株)	下請		〇〇ビル空調設備工事	埼玉県さいたま市	佐藤 太郎	レ	17,100 千円	千円	平成 2△年 6 月	平成 2△年 12 月
〇〇建設(株)	下請		〇〇ストア給排水設備工事	埼玉県戸田市	佐藤 太郎	レ	7,000 千円	千円	平成 2△年 3 月	平成 2△年 4 月
〇〇建設(株)	下請		〇〇マンション空調衛生設備工事	埼玉県さいたま市	上田 三郎	レ	3,000 千円	千円	平成 2△年 3 月	平成 2△年 4 月
B	元請		B邸給排水設備工事	埼玉県熊谷市	上田 三郎	レ	2,700 千円	千円	平成 2△年 1 月	平成 2△年 2 月
(主な未成工事)			未成工事がある場合は記入				千円	千円	平成 年 月	平成 年 月
〇〇建設(株)	下請		〇〇ビル空調衛生設備工事	埼玉県さいたま市	上田 三郎	レ	8,200 千円	千円	平成 2△年 12 月	平成 2□年 3 月
							千円	千円	平成 年 月	平成 年 月
							千円	千円	平成 年 月	平成 年 月
			その他	11件			22,100 千円	千円	平成 年 月	平成 年 月

このページの合計を記入 →

小 計	18	81,200 千円	千円	うち 元請工事	41,000 千円	千円
-----	----	-----------	----	---------	-----------	----

最終ページにおいてその業種の合計を記入 →

合 計	18	81,200 千円	千円	うち 元請工事	41,000 千円	千円
-----	----	-----------	----	---------	-----------	----

・1年間の完成工事高の合計を記入  
 ・未成工事高は合算しない

①元請工事に係る完成工事について、その請負代金の額の合計額の7割を超えるところまで、請負代金の額の大きい順に記載  
 ※注1、注2

②①に続けて、①以外の元請工事及び下請工事に係る完成工事についてすべての完成工事高の7割を超えるところまで、請負代金の額の大きい順に記載  
 ※注1、注2

③②に続けて、主な未成工事について、請負代金の額の大きい順に記載

**注1**  
 税込500万円未満（建築一式については、税込1,500万円未満又は延べ面積150㎡未満の木造住宅）の工事については10件まで記載すべし

**注2**  
 請負代金の額の合計額の1,000億円超部分は記載不要